

## 第3学年 道徳科学習指導案

平成29年10月24日（火）第5校時

- 1 主題名 みんなで楽しい学級を 内容項目 [C よりよい学校生活、集団生活の充実]
- 2 ねらい 一人一人が学級のために協力することによってより楽しい学級になることを理解し、積極的な学校生活を営む姿勢や態度を育てる。  
教材名 「ハッピースマイル」(出典：彩の国の道徳「みんななかよし」埼玉県教育委員会)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

本主題は、第3学年及び第4学年内容項目C「主として集団や社会との関わりに関すること」の「よりよい学校生活、集団生活の充実」「みんなで協力し合って楽しい学級をつくらうとする態度を育てる」ことをねらいとしている。気持ちをもって、学級や学校の生活をよりよいものにすることや、様々な集団の中での活動を通じて、自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることに関する内容項目である。第1学年及び第2学年の内容項目「よりよい学校生活、集団生活の充実」「先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする」を受け、第5学年及び第6学年の内容項目「よりよい学校生活、集団生活の充実」「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中で自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること」へ発展していく。

人は社会的な存在であり、家族や学校などの様々な集団や社会に属して生活を営んでいる。それらにおける集団と個の関係は、集団の中で一人一人が尊重して生かされながら、主体的な参加と協力の下に集団全体が成り立ち、その質的な向上が図れるものでなければならない。教師や学校の様々な人々との活動を通じて学級や学校全体に目を向けさせ、集団への所属感を高めるとともに、それらの集団に役立っている自分への実感とともに学校を愛する心を深められるようにすることが求められる。また、様々な集団に属する一人一人が、集団の活動に積極的に参加し、集団の意義に気付き、自分の役割と責任を自覚して、充実した集団生活を構築しようと努力することが大切である。

第3学年及び第4学年の児童は、仲間意識の高まりと相まって特に学級への所属意識が高まると言われている。このことから、互いに思いやり明るさや活力あふれる楽しい学級を、みんなで協力し合ってつくっていくことができるような態度を育む必要がある。また、日頃お世話になっている教師や学校の人々との関わりにも目を向けて学校全体を視野に入れて、よりよい学校生活をつくることに関心を深めるようにしていくことも大切である。指導に当たっては、進んで学級のために働くなど具体的な活動を通じて、楽しく充実した学校生活が構築できるように指導していきたい。

#### (2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、これまでの様々な活動を通じて少しずつ友達との仲間意識が高まり、学級や学年のまとまりを大切に考えられるようになってきている。学級会などの話し合いでは、「学級会の名前を決めよう」「運動会がんばった会をしよう」などの提案に対し、様々な意見が活発に発表され、明るく楽しいクラスにしようという意識が芽生えている。第2回学級会の議題「学級のめあてを決めよう。」では、司会グループを中心に、多くの意見を一つにまとめ「なかよく、元気に、明るく思いやりのあるクラス」に決めることができた。しかし、その反面、自分本位の言動をしたり、自分の当番・係活動さえすればいいんだという考えを持ったりする児童も一部みられる。また、「学級や学年とい

う集団」や「集団の中での自分の役割」ということを意識できない児童もいる。

<アンケート結果> 9月8日 実施

①あなたにとって、クラスはどんなところですか。(複数回答)

・楽しいところ…13人・明るいところ…3人・おもしろい…3人・勉強するところ…2人  
・元気なところ…2人・にぎやか…1人

②クラスのよいところはどこだと思いますか。(複数回答)

・やさしい…5人・仲良し…4人・助け合える…3人・楽しく活動できる…3人  
・元気…3人・声をかけ合える…2人・思いやり…2人・教え合える…1人・あいさつ…1人  
・時間を守る…1人

③日直・給食当番などの当番活動をどう思いますか。

・やるのが好き…20人・当番だからしかたない…7人・できるならやりたくない、きれい…0人

④あなたは、他の人が当番活動をやりわすれていることに気づいたらどうしますか。

○やってあげる…5人

【理由】・やった方がいいと思う…1人・役に立ちたい…1人・困るから…1人  
・同じ当番の人が困る…1人・ありがたいと言われるから…1人

○声をかけて、その人に教える…21人

【理由】・当番の仕事だから…6人・自分の仕事でないから…2人  
・声をかけたらやると思うから…2人・その人がやらないとだめだから…2人  
・みんなが困るから…2人・やってあげるとその人がやらなくなるから…1人  
・当番の人が忘れていると思うから…1人

○何もしない…1人 【理由】・気づくけど、声をかけるのは苦手…1人

⑤「クラスの役に立つ」とは、どんなことだと思いますか。(複数回答)

・自分の当番や係りの仕事をしっかりやること…5人  
・勉強で分からないことを教えてあげること…3人  
・助け合うこと…3人・手伝ってあげること…2人  
・クラスのことをすること…1人・みんなを支えること…1人・なかよくすること…1人  
・心配してあげること…1人・声をかけること…1人 無回答…4名

⑥あなたは、クラスのために役に立っていると思いますか。

・役に立っている。…4人・少し役に立っている…14人・あまり役に立っていない…7人  
・役に立っていない…2人。

①「クラスはどんなところ」の質問に対して、「楽しいところ」「明るい」「おもしろい」などの意見が多数出ており、本学級の児童は「クラス」という場を肯定的にとらえていることが分かる。②「クラスのよいところ」の質問に対しては、「やさしい」、「仲良し」、「助け合える」などの意見が出ており、児童は友達との関わりを大切に考えていることが分かる。③「当番活動」については、20人(74%)の児童が「やるのが好き」と答え、当番活動を楽しんでいるようである。一方、7名(26%)の児童は当番だから仕方なく行っていると答え、当番活動に対して面倒だと感じている。④「当番が忘れていないことに…」という質問に対しては、「声をかけてその人に教える」と答える児童が21名(78%)もあり、その理由として、「当番の仕事だから」「自分の仕事でないから」「声をかけたらやると思うから」「その人がやらないとだめだから」を挙げている。これは、多くの児童は自分の仕事は分担されたもので、当番活動は責任を持ってしっかり行うべきものであり、だからこそ、友達にも同じ行動を望むことの表れだと考えられる。よって、当番の仕事は担当の人が責任を持って行うべきものだから、他の人の当番活動まで行うことには消極的であることが分かった。⑤「クラスの役に

立つ」の質問には、「自分の当番や係の仕事をしっかりやること」と「自己を中心」とした考えと、「勉強で分からないことを教えてあげること」「助け合うこと」「手伝ってあげること」など、「他者との関係」―「助け合い」「協力」を考えた児童がいる。授業では、どちらの考えも大切にしながら、自分の当番活動のみを行うだけでは、よいクラスにならないことに気づかせていきたい。また、無回答の児童も数名おり、集団の中での役割をまだ分からない児童もいる。⑥「あなたは役に立って…」の質問では、「役に立っている」「少し」と答えた児童が18名（67%）おり、半分以上が自己を肯定的に捉えている。しかし、9名（33%）は「あまり…」「役に立っていない」と答え、やや否定的に自己を捉えていた。

クラスにおける自分が楽しい学校生活とは、学級内のみんなが当番活動や係活動などを協力し合いながら責任をもって行い、時に不足なことは助け合いながら行うことにより支えられていると考える。児童自身が楽しい学校生活にするために、授業では「自分に何ができる」を自分自身で考える機会とし、積極的な学校生活を営む姿勢や態度を養うことの大切さを育てていきたい。

### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、主人公はるかの学級では「わたしもいい。みんなもいい。」という言葉で学級の合言葉としている。ある日給食当番が欠席し、昼休み配膳台が片づけられずに残ってしまう。はるかはそのことに気づきながらも、昼休み遊びに行ってしまう。5時間目、先生の言動によって自分の行動を反省し、みんなで配膳台を片づける。はるかは学級の合言葉の意味を実感するという内容である。

本学級の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合わせる。

#### ①<片づけられていないままの配膳台を気にしながらも、はるかが遊びにいってしまう場面>

クラス全員で遊ぶ特別な休み時間であることから、どうしても遊びたいはるかの気持ちを考えさせる。片付いていないことに気づきながらも、そのまま遊びに行ってしまう気持ちに十分共感させる。

#### ②<「それでいいのかな。」という先生の言葉に、うつむいてしまう場面>

配膳台が片付いていないことに気づきながら、遊びに行ってしまった後悔と、片づけなかったことを正当化する考えを明確にする。「片づけなくてよい」とする考えには、「自分の仕事をしたよ。」「私はこの係ではない。」といった「自分中心の考え」があることをとらえさせたい。

#### ③<はるかが、思わず席を立て「私が片づけます。」と言いながら、配膳台に向かう場面>

はるかが行動を起こす場面において、何がその行動の原動力になったかを考えさせる。そこには、自分中心でなく「クラスのため」に進んで活動する姿が感じられる。

#### ④<みんなが笑顔になる場面>

はるかの行動をきっかけに、みんなが配膳台を片づける場面である、ここでは、一人でなくみんな協力し片づけることで、よりよいクラスなることを導きたい。

自分のことしか考えられなかったはるかが自分を振り返り、学級はみんなで協力し助け合うことによって楽しく生活できることに気づいていく。はるかの行動の迷い、決断、他の友達の考えや行動を考えさせながら、よりよい学級のためにどんなことが大切なのかをじっくり考えさせたい。

## 4 研修課題との関わり

学校研修課題

自ら学び ともに高め合おうとする児童の育成

～学び合い学習をとおり豊かな心を育む～

【集団の学び・個の学び】

<道徳科におけるめざす児童像>

- 道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ高めようとする児童
- 多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする児童
- 道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育み、よりよく生きようとする児童

<手立て>

○学習課題とテーマ発問の設定

児童のアンケートや学級の実態を踏まえ、学習課題を提示する。主人公の心情を深く話合う活動を通じ、「もっと明るく楽しいクラスにするためには、どんなことが大切なのか。」というテーマ発問を設定する。よいクラスになるためには、自分に何ができるかということを考えさせたい。

○心の帯グラフの活用による、心情の変化の視覚化

主人公の心情の変化や自分の考えを可視化するために「心の帯グラフ」を活用する。主人公の様々な気持ちを帯グラフの色を手がかりに話合う活動を通じ、心情をより明確にしていく。帯グラフは、ペアの交流にも活用し、配膳台を片づけるか、そうでないかの考えを2色に色分けすることでより、スムーズな意見交流を図っていきたい。

○多様な考えを活かす板書の工夫

場面絵やキーワードを活用し、教材文の状況や話し合いを行う。主人公の心情や行動をしっかり考え、個々の考えを類型化したり対比したりしていく。

5 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価（評価方法）	時間
導 入	1 アンケートの結果や学級の様子を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな、学級が楽しいと思っている。</li> <li>・机が残っていて残念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果から学級全体の考えを確認したり、学級での出来事を想起させたりして、教材への課題意識を持たせる。</li> </ul>	3
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>学習課題 もっと明るく楽しい学級にするためには、どんなことが大切なのか。</p> </div>				
展 開	2 教材「ハッピースマイル」の条件・状況を知る。			7
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>登場人物：主人公「はるか」 相方「青木先生」 条件・状況： 学級の合言葉 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハッピースマイル</span>「わたしもいい。みんなもいい。」 四月、笑顔でいられるようにとみんなで決めたが、二学期をすぎた最近は、笑顔も少なくなってきた。はるかは給食当番。配膳台係が欠席し、昼休み配膳台が片づけられずに残ってしまう。はるかはそのことに気づきながらも、昼休み遊びに行ってしまう。</p> </div>				
	3 教材の読み聞かせを聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの柱になる部分は特に丁寧に判読し、児童がスムーズに話し合いに参加できるようにしていく。</li> </ul>	

<p>深める</p>	<p>4 はるかの気持ちを中心に、よりよい学級をつくっていくことを話し合う。</p> <p>(1) 片づけられていないままの配膳台を気にしながらも遊びにってしまったはるかは、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>(2) 「それでいいのかな。」という先生の言葉にどうしていいかわからず、うつむいてしまったはるかはどんなことを考えていたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早く外で遊びたい。</li> <li>・だれかが片づけるだろう。</li> <li>・私の仕事でない。</li> <li>・みんなから遅れてしまう。</li> <li>・今は忙しいからできない。</li> <li>・友達にさそわれたので、できない。</li> <li>・片づけていると、自分の昼休みの時間が減ってしまう。</li> </ul> <p><b>【片づけなくてよい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のだれかが片づければよかった。</li> <li>・私は、自分の仕事をやったからやらなくていい。</li> <li>・出した人が片づければよい。</li> <li>・自分の仕事でない。</li> </ul> <p><b>【片づける】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・係りが休みなので、代わりにやればよかった。</li> <li>・当番だから、やればよかった。</li> <li>・気づいていたのに、遊びに行ってしまうって、いけなかったな。</li> <li>・片づければこんなことにならなかった。</li> </ul>	<p>25</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はるかが、自分の当番の仕事をきちんと行っていることを押さえる。</li> <li>・「少し気になった」という状況から、はるかは片付いていないことに気づいたことを押さえる。</li> <li>・クラス全員で遊ぶ特別な休み時間であることから、どうしても遊びたいはるかの気持ちを引き出す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>意図：全員で遊ぶ日だったので、配膳台が残っていたことに気づきながらも、遊びに行ってしまうはるかの気持ちに十分に共感させる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「それでいいのかな。」という先生の言葉をキーワードに、児童自身への問いかけにしていく。</li> <li>・配膳台を片づけるべきか、しなくてもよいのではという2つの考えに触れ、はるかの考えをじっくり話し合わせたい。</li> <li>・2つの考えを併せ持つはるかの心情を、心の帯グラフで表現させる。</li> <li>・ペア学習を取り入れ、各々の気持ちを積極的に交流させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>意図：配膳台を片づけるべきか、「しなくてもよいのでは」という2つの考えについて、各々の根拠を明確にさせながら話し合いを行う。</p> </div>
------------	--	---	--

<p>深 め る</p>	<p>(3) はるかとはどんな気持ちから、思わず席を立て「私が片づけます。」と言いながら、配膳台に向かって走ったのでしょうか。</p> <p>(テーマ発問) (4) みんなが笑顔になったのは、どんなことに気付いたからですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の学級のことだから、私がやります。</li> <li>・片づけると気持ちがいいから、片づけます。</li> <li>・他の学級の先生が行うことでないから。</li> <li>・自分も当番の一人だから。</li> <li>・このまま置いたままでは、いけないから。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でなく、みんなで協力すること。</li> <li>・みんなで助け合うこと。</li> <li>・自分の仕事でなくても、学級のために、手助けすること。</li> <li>・協力すると、気持ちがいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えていたはるかが、思わず席を立て片づけるという行動を選んだわけを考える。</li> <li>・はるかの行動によって他の人も、片づけに集まる様子を捉える。</li> <li>・「自分の学級」「協力」「助け合い」「みんな」という言葉をキーワードとして、大切に扱う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>意図：みんなが協力し合い、時に不足なことは助け合いながら行うことにより、もっとよい学級になることに気づかせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に配膳台を何人かで運び、その時の気持ちを表現させ、すがすがしい気持ちを感じさせたい。</li> <li>・「ゴミを拾う。」「係がやり忘れていたら、代わりにやっであげる。」など、どんな小さなことでも、気づいた人が行うことにより、みんながより明るく笑顔になることを押さえる。</li> </ul> <p>◇学級はみんなで協力したり、助け合ったりすることによって、よりよい場になることを捉えることができたか。(観察・発言)</p>	
----------------------	--	--	--	--

	見 つ め る	5 みんながより明るく笑顔で生活するためには、自分はどんなことができると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当番が忘れていたら、やってあげる。</li> <li>・落ちているものを拾う。</li> <li>・自分の担当でなくても、当番が大変な時は手伝ってあげる。</li> <li>・掃除をみんなで協力して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当番活動や係活動以外にも、児童ができそうなことを例示し、学級の中で自分にもできそうなことを考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>意図：学級のために自分は何ができるか考えることによって、よりよい学級にしようとする意欲を高める。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハッピースマイルの木」を提示し、自分のできそうなことを付箋で貼り、よい学級作りの意欲を高めさせる。</li> </ul> <p>◇よりよい学級にするために自分ができることを意欲的に考えることができたか。 (発言・付箋)</p>	5
終 末	あ た た め る	6 教師の説話を聞く。 ・学級の様子を知る。 (日直が消し忘れた黒板を、気づいた人で消す様子など)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の様子を知り、楽しい学級作りへの意欲付けを図る。</li> </ul>	5

6 他の教育活動との関連

事前指導	道徳の時間	事後指導
<p>(学級活動)</p> <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会の名前を決めよう</li> <li>・学級会の活動計画を立てよう</li> <li>・学級のめあてを決めよう。</li> </ul> <p>みんなで協力し合ってよりよい学級をつくろうとする。</p> <p>(図工)</p> <p>5月「長い紙、つくって」</p> <p>長い紙を友達と協力してつなげ、作品を作る。</p> <p>(国語)</p> <p>9月「つたえよう、楽しい学校生活」</p> <p>おたがいの意見の同じところや違うところを考えながら発表する内容を話し合う。</p>	<p>5月</p> <p>教材名「なかよしポスト」</p> <p>みんなで協力し合って楽しい学級をつくろうとする態度を育てる。</p> <hr/> <p>10月(本時)</p> <p>教材名「ハッピースマイル」</p> <p>みんなで協力し合って楽しい学級をつくろうとする態度を育てる。</p> <hr/> <p>1月</p> <p>教材名「風船と花の種」</p> <p>素晴らしい校風は、多くの人たちの力で作られていることに気づき、協力してよりよい学校を作っていこうとする態度を育てる。</p>	<p>(社会) 10月</p> <p>班の人と協力して楽しい社会科見学を行う。</p> <p>(学級活動)</p> <p>11月・係の仕事を見直そう。</p> <p>みんなで協力し合って、よりよい学級をつくろうとする。</p> <p>-2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇大会の計画を立てよう。</li> <li>・6年生を送る会</li> <li>・もうすぐ4年生</li> </ul> <p>&lt;年間&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会・当番・係活動</li> <li>・「がんばりの木」への掲示</li> <li>・各教科におけるペア交流・グループ交流</li> </ul>



家庭との連携
<p>学級通信や学級懇談会で、学級として協力して取り組んでいることや児童の様子などを知らせ、学級の様子を家庭にも理解してもらおう。</p>

7 評価の観点

◇みんなで協力し助け合うことによって、学級がよりよくなることを捉えることができたか。  
(観察・発言)

◇よりよい学級にするために、自分ができることを意欲的に考えることができたか。  
(発言・付箋)



8 板書計画

笑顔の絵

絵

「それでいいのかな。」

配 ぜ ん  
台

青木先生  
絵

はるか  
絵

学級のあいことば 「わたしもいい。みんなもいい。」

・今週 給食当番  
・配ぜん台係 休み  
・昼休み 学級全員で遊ぶ日

給食前：用意されていた  
昼休み：残っていた：

みんなですべて協力  
助け合い

絵

かたづけなくてよい

かたづける

わたしがやります

絵

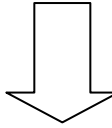
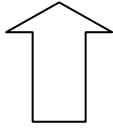
絵

笑顔のない絵

9 教材分析表

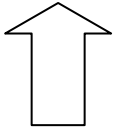
ね ら い : 一人一人が学級のために協力することによってより楽しい学級になることを理解し、積極的な学校生活を営む姿勢や態度を育てる。内容項目 [Cよりよい学校生活、集団生活の充実]  
 授業者の意図 : クラスにおける自分が楽しい学校生活とは、学級内のみんなが当番活動や係活動などを協力し合い責任をもって行いながら、時に不足なことは助け合いながら行うことにより支えられていると考える。児童自身が楽しい学校生活にするために、授業では「自分に何ができる」を自分自身で考える機会とし、積極的な学校生活を営む姿勢や態度を養うことの大切さを育てていきたい。

中 心 発 問 : みんなが笑顔になったのは、どんなことに気付いたからですか。  
 意 図 : みんなが協力し合い、時に不足なことは助け合いながら行うことにより、もっとよい学級になることに気づかせる。  
 価値理解 人間理解 他者理解



発問 : 「それでいいのかな。」という先生の言葉にどうしていいか分からず、うつむいてしまったはるかとはどんなことを考えていたのでしょうか。  
 意図 : 「配膳台を片づけるべきか」、「しなくてもよいのでは」という2つの考えについて、各々の根拠を明確にさせ話し合う。  
 人間理解 自己理解 他者理解

発問 : みんながより明るく笑顔で生活するためには、自分はどんなことができると思いますか。  
 意図 : 学級のために自分は何ができるか考えることによって、よりよい学級にしようとする意欲を高める。  
 価値理解 自己理解



発問 : 片づけられていないままの配膳台を気にしながらも遊びにいったしまったはるかとは、どんな気持ちだったのでしょうか。  
 意図 : 全員で遊ぶ日だったので、配膳台が残っていたことに気づきながらも、遊びに行ってしまうはるかの気持ちに十分に共感させる。  
 人間理解